

令和 3 年度「看護教員養成プログラム」の自己点検・評価について

【自己点検・評価の概要】

看護教員養成プログラムについては、毎年本プログラムの修了時に、A、B について学生へアンケートを実施し修了者の状況に係る効果検証を行い、次年度の開催に向けての課題を明確にしたうえで改善して運営をしている。学生には、アンケートの結果を今回の報告や業務改善、研究等に使用すること、及び任意の参加であること、学生の不利益にならないこと等を説明しアンケートを実施した。

A.看護教員養成プログラム修了時における到達目標の達成度について

本プログラムは、厚生労働省より例年「看護教員に関する講習会(専任教員)」として認定を受けているため、「専任教員養成講習会及び教務主任養成講習会ガイドライン」に示される 43 項目の「教員の教育実践力と講習会終了時の到達目標」についてアンケートによる評価を行っている。

B.看護教員養成プログラム 通信教育課程 満足度について

通信教育課程における履修状況や学修満足度等についてアンケートを実施し、評価を行っている。

【アンケートの実施】

実施者:佐藤弘子 人間科学部心身健康科学科

アンケート対象者:令和 3 年度 看護教員養成コース 看護教員養成プログラム受講者 38 名

アンケート実施日:令和 4 年 2 月 5 日(土)

アンケート回収日:令和 4 年 2 月 6 日(日)

アンケート回答人数:38 名(回収率 100%)

有効回答者数:38 名(有効回答率 100%)

【アンケートの結果】

別添資料参照

【評価】

A.看護教員養成プログラム修了時における到達目標の達成度について

本学での看護教員養成プログラムは平成 24 年度より開始し、平成 31 年度(令和元年度)をもって 8 回目(8 年目)となったが、8 回目にして全ての到達目標において「(達成したと)大変そう思う」及び「(達成したと)ややそう思う」と回答した者が 5 割を超えた。

そして、引き続き令和 2 年度及び令和 3 年度においても全ての到達目標において「(達成したと)大変そう思う」及び「(達成したと)ややそう思う」と回答した者が 5 割を超えている。

これまでの教授内容の強化・改善への取り組みについて、一定の効果を上げ、教授内容の質を維持することができたと言える。引き続き更なる教授内容の充実を図るべく取り組んでいきたいと考える。

B.看護教員養成プログラム 通信教育課程 満足度について

①e-learning 全体について(問 1~5)

e-learning 全体については、「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した者が 5 割を下回る項目(以下「課題項目」)は無かった。

問 1～問 5 については、「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した者がいずれも 7 割を超え、満足度が高いことが示された

②専門分野について(問 6～10)

今回の結果では、「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した者がいずれも 7 割を超え、通信教育課程における専門分野の学修環境についての満足度が向上してきた。

③基礎分野・教育分野について(問 11～15)

「インターネット授業の学修のしやすさ」については、「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した者は、全項目において、7 割を超え、基礎分野の学習環境についての満足度が向上してきた。

問 15「インターネットでの科目修了試験は受験しやすかったですか」については「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した者の割合は、8 割を超えている。

④事務対応について(問 16)

回答者の 9 割を超える者が「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した。引き続き学生が満足できるような対応を心掛けたい。

⑤UHAS@My キャンパスの使用について(問 17～19)

回答者の約 6 割を超える者が「①ほぼ毎日」、「②4～5 日/週」、「③2～3 日/週」と回答し、看護教員養成プログラムの学修期間中、継続的に UHAS@My キャンパスを利用し学修している。

⑥学修時間について(問 20～21)

回答者の 8 割を超える者が多いときは 120 分以上と回答し長時間にわたる学修をしていることが分かった。

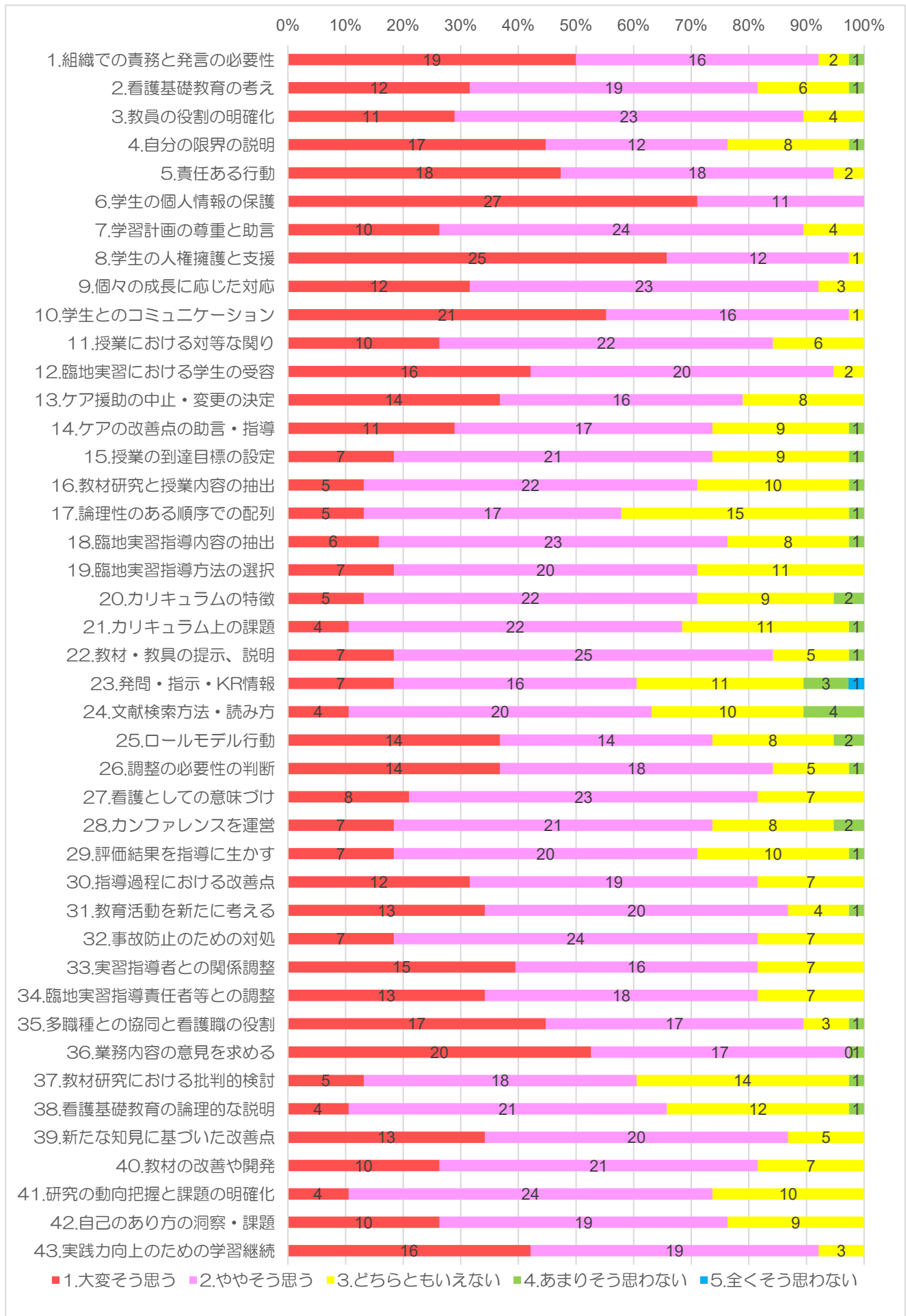
⑦オンライン図書館の利用について(問 22～24)

オンライン図書館のコンテンツについては「①大変満足している」、「②やや満足している」と回答した者は、平成 30 年度は 27%であり、平成 31 年度においては 22%と若干の減少がみられたが、令和 2 年度では 39%、令和 3 年度においては 47%と上昇傾向にある。

令和 3 年度においては、契約本数が限られているコンテンツをアクセス数フリーの契約に変更したことにより、次年度には学生の同時間帯におけるアクセスの集中にも耐えうる環境となり不便が解消される見込みである。

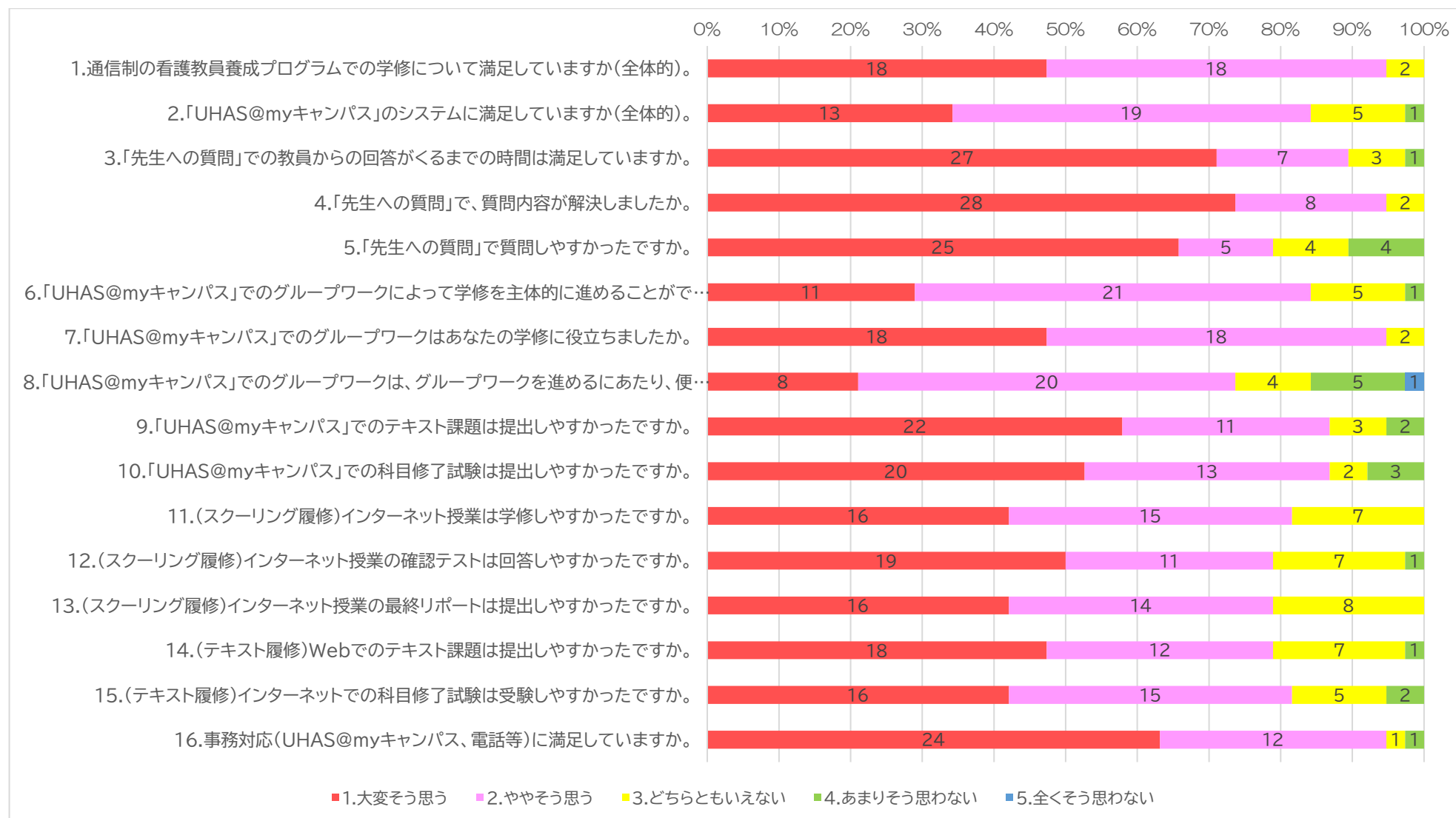
A.「看護教員養成プログラム修了時における到達目標の達成度について」アンケート結果

n=38



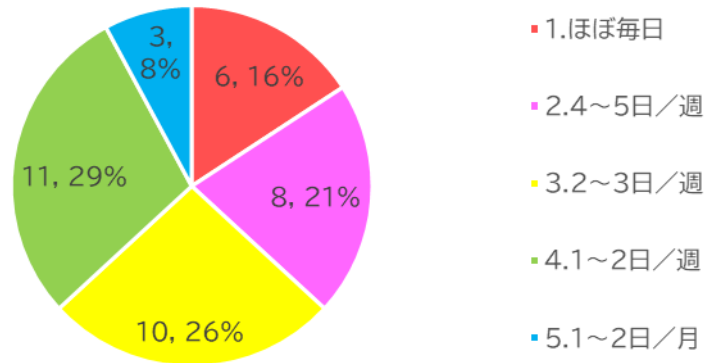
B.「看護教員養成プログラム 通信教育課程 満足度について」アンケート結果

n=38

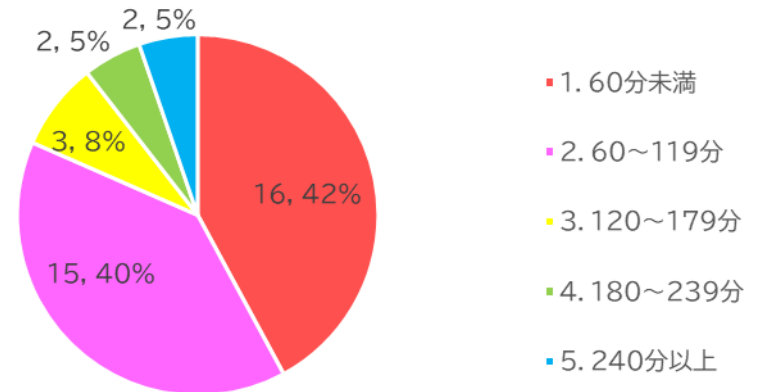


【問17～19】UHAS@My キャンパスの使用について

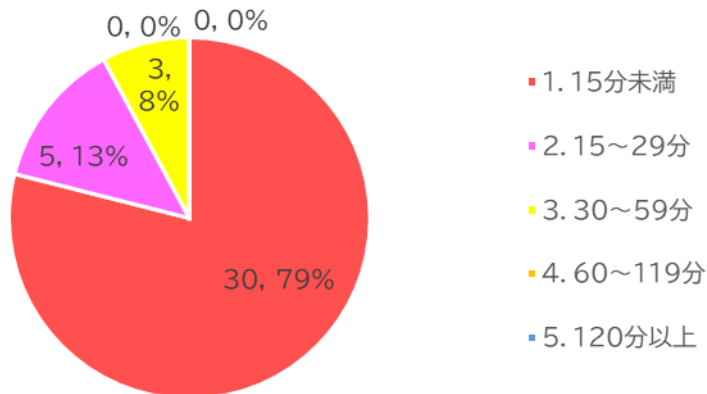
17.どのくらいの割合で「UHAS@myキャンパス」にアクセスしましたか。



18.「UHAS@myキャンパス」のアクセスは、1回あたりの時間は多い時でどのくらいでしたか。

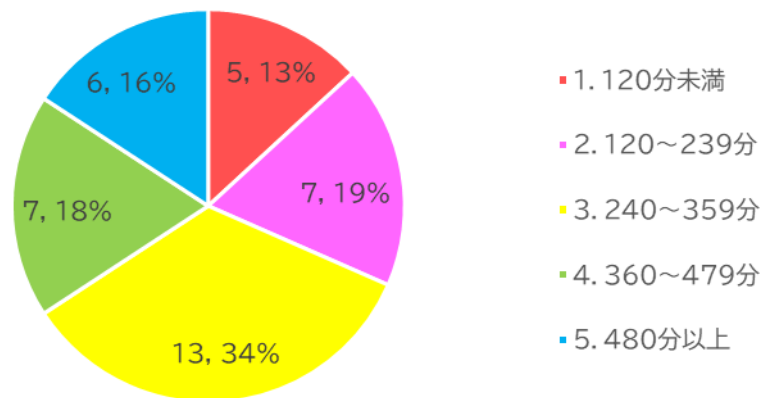


19.「UHAS@myキャンパス」のアクセスは、1回あたりの時間は少ない時でどのくらいでしたか。

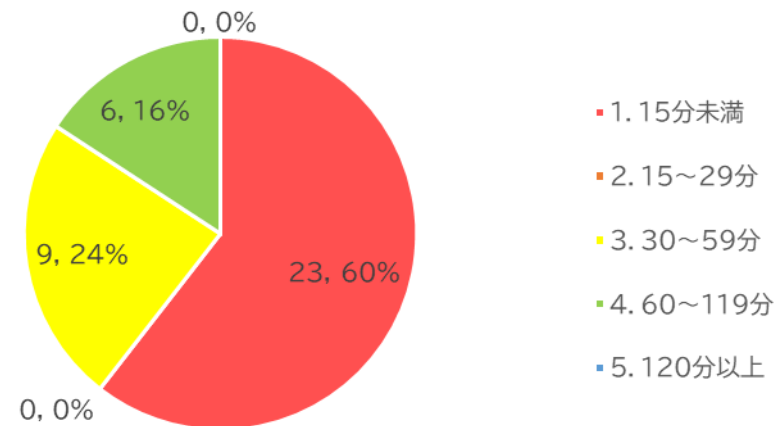


【問20～21】学修時間について

20.一日の学修時間は、多い時でどのくらいでしたか。

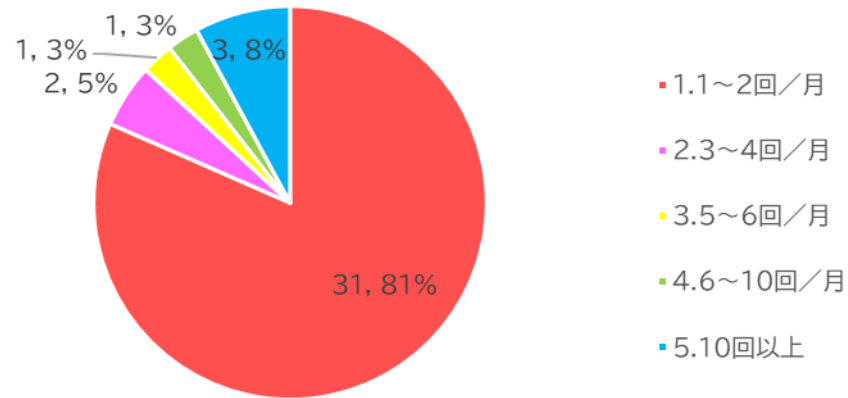


21.一日の学修時間は、少ない時でどのくらいでしたか。

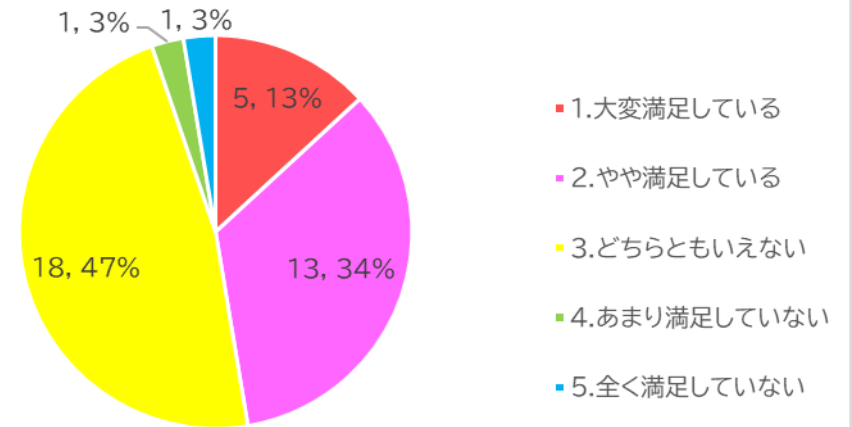


【問22～24】オンライン図書館の利用について

22.e-libraryはどのくらい利用されましたか。



23.e-libraryのコンテンツには満足していますか。



24.e-libraryでの文献検索は便利でしたか。

